

8 市町村別観察 Incidence in Municipalities

- 直近の5年間では、県全体を100とした場合、各市区町村の標準化罹患比は、85.5から126.1の間に分布していた。部位および観察期間により傾向は異なっており、一定の傾向を見出すことは難しいものの、定期的な観察を行っていく必要がある。
- がん検診・健康診断・人間ドックによる発見割合は、市区町村によって大きく異なっていた。

集計結果

図9-1, 図9-2, 付表4-1, 付表4-2…市区町村別・主要部位別の標準化罹患比

図10-1, 図10-2, 付表5-1, 付表5-2…市区町村別・主要部位別検診発見割合

標準化罹患比

全部位

直近の平成25-29年(2013-2017年)の5年間では、県全体を100とした場合、各市区町村の標準化罹患比は、85.5から126.1の間に分布し、違いが見られた(付表4-1)。このうち、統計学的に有意な差が認められた結果を図9-1に示す。6市区町村で有意に高く(石巻市, 女川町, 塩竈市, 宮城野区, 若林区, 名取市), 11市区町村で有意に低かった(気仙沼市, 登米市, 利府町, 泉区, 青葉区, 川崎町, 蔵王町, 村田町, 大河原町, 丸森町, 角田市)。

平成20-24年(2008-2012年)と比較すると、直近の結果と違いがあり、今回も有意に高かったのは3市区町村(塩竈市, 宮城野区, 若林区), 有意に低かったのは4市区町村(気仙沼市, 登米市, 丸森町, 角田市)であった(図9-2)。

部位別

口腔・咽頭は、1市区町村で有意に高く(青葉区), 4市区町村で有意に低かった(加美町, 若林区, 村田町, 白石市)(図9-1)。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった(図9-2)。

食道は、1市区町村で有意に高く(若林区), 4

市区町村で有意に低かった(登米市, 亶理町, 角田市, 七ヶ宿町)(図9-1)。若林区は前回に引き続き有意に高く, 登米市は前回に引き続き有意に低かった(図9-2)。

胃は、5市区町村で有意に高く(女川町, 松島町, 塩竈市, 宮城野区, 角田市), 5市区町村で有意に低かった(気仙沼市, 登米市, 南三陸町, 泉区, 青葉区)(図9-1)。松島町, 宮城野区, 角田市は前回に引き続き有意に高く, 気仙沼市, 登米市, 南三陸町は前回に引き続き有意に低かった(図9-2)。

大腸は、5市区町村で有意に高く(気仙沼市, 登米市, 石巻市, 若林区, 白石市), 6市区町村で有意に低かった(栗原市, 東松島市, 青葉区, 村田町, 角田市, 丸森町)(図9-1)。登米市, 若林区は前回に引き続き有意に高く, 東松島市, 丸森町は前回に引き続き有意に低かった(図9-2)。

肝・肝内胆管は、1市区町村で有意に高く(亶理町), 4市区町村で有意に低かった(気仙沼市, 南三陸町, 大和町, 富谷市)(図9-1)。亶理町は前回に引き続き有意に高く, 南三陸町は前回に引き続き有意に低かった(図9-2)。

胆のう・肝外胆管は、1市区町村で有意に高く(女川町), 1市区町村で有意に低かった(七ヶ宿町)(図9-1)。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった(図9-2)。

膵は、4市区町村で有意に低かった(利府町, 蔵王町, 角田市, 山元町)(図9-1)。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった(図9-2)。

肺は、3市区町村で有意に高く(石巻市, 七ヶ浜町, 宮城野区), 6市区町村で有意に低かつ

た（気仙沼市，登米市，泉区，青葉区，大河原町，岩沼市）（図9-1）。石巻市，七ヶ浜町は前回に引き続き有意に高く，泉区は前回に引き続き有意に低かった（図9-2）。

女性乳房は，6市区町村で有意に高く（石巻市，女川町，泉区，若林区，青葉区，太白区），12市区町村で有意に低かった（登米市，大崎市，大和町，多賀城市，川崎町，蔵王町，村田町，大河原町，角田市，丸森町，山元町，亶理町）（図9-1）。泉区，若林区，青葉区，太白区は前回に引き続き有意に高く，登米市，大崎市，大和町，大河原町，丸森町は前回に引き続き有意に低かった（図9-2）。

子宮頸部は，8市区町村で有意に高く（加美町，大崎市，登米市，南三陸町，涌谷町，石巻市，東松島市，名取市），8市区町村で有意に低かった（松島町，利府町，多賀城市，大郷町，泉区，青葉区，太白区，川崎町）（図9-1）。石巻市は前回に引き続き有意に高く，利府町，泉区，青葉区は前回に引き続き有意に低かった（図9-2）。

子宮体部は，2市区町村で有意に低かった（青葉区，蔵王町）（図9-1）。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった（図9-2）。

前立腺は，9市区町村で有意に高く（加美町，栗原市，美里町，涌谷町，石巻市，名取市，亶理町，山元町，白石市），6市区町村で有意に低かった（気仙沼市，青葉区，川崎町，村田町，角田市，柴田町）（図9-1）。加美町，美里町，名取市，亶理町は前回に引き続き有意に高く，村田町は前回に引き続き有意に低かった（図9-2）。

腎・尿路は，1市区町村で有意に高く（石巻市），3市区町村で有意に低かった（大衡村，角田市，白石市）（図9-1）。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった（図9-2）。

膀胱は，2市区町村で有意に高く（石巻市，若林区），7市区町村で有意に低かった（南三陸町，登米市，塩竈市，七ヶ浜町，多賀城市，宮城野区，山元町）（図9-1）。石巻市は前回に引き続き有意に高く，南三陸町，山元町は前回に引き続き有意に低かった（図9-2）。

甲状腺は，2市区町村で有意に高く（名取市，

大河原町），5市区町村で有意に低かった（気仙沼市，登米市，石巻市，大郷町，若林区）（図9-1）。登米市は前回に引き続き有意に低かった（図9-2）。

悪性リンパ腫は，1市区町村で有意に高く（七ヶ浜町），1市区町村で有意に低かった（山元町）（図9-1）。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった（図9-2）。

白血病は，3市区町村で有意に低かった（色麻町，大郷町，丸森町）（図9-1）。前回に引き続き有意な結果であった市区町村はなかった（図9-2）。

部位，観察期間によって異なっており，一定の傾向を見出すことは難しいものの，定期的な観察を行っていく必要がある。

検診による発見割合

直近の平成25-29年（2013-2017年）の5年間で，がん検診・健康診断・人間ドックで発見された症例の割合を図10-1に示す。

胃は，市区町村別では，13.4%から46.8%に分布していた。県全体よりも高かったのは20市区町村，低かったのも20市区町村であった。

大腸は，市区町村別では，18.8%から45.5%に分布していた。県全体よりも高かったのは24市区町村，低かったのは15市区町村であった。

肺は，市区町村別では，8.2%から44.0%に分布していた。県全体よりも高かったのは21市区町村，低かったのは19市区町村であった。

女性乳房は，市区町村別では，19.6%から66.7%に分布していた。県全体よりも高かったのは22市区町村，低かったのは17市区町村であった。

子宮頸部は，市区町村別では，11.1%から100%に分布していた。県全体よりも高かったのは25市区町村，低かったのは15市区町村であった。

市町村におけるがん登録情報の活用

がん検診については，かねてより受診率の算定方法が市町村間で異なっており，比較でき

ないことが問題となってきた¹⁾。そこで、国では、地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の対象者については、市町村の住民全体とし（平成28年度以降）、対象者と受診者について、国民健康保険の被保険者の数を併せて報告することとした（平成30年度以降）²⁾。しかし、職域におけるがん検診については、正確に把握する術がない。

がん登録では、がん検診・健康診断・人間ドックで発見された症例の把握が可能である。市町村が把握しているがん検診の受診者数と併せてモニタリングすることで、市町村の実態把握に役立つものと期待される。

がん登録推進法が施行されたことに伴い、市町村長は、がん対策の企画立案や実施に必要ながんに係る調査研究のため、当該市町村のがん登録情報の提供を受けることができ（法第19条）、がん検診の質の向上その他のがん対策の充実に努めるものとする（法第46条第4項）、とされている。手数料は無料となっているが、事前相談が必要なので、宮城県がん登録室までご相談のうえ、是非ご活用いただきたい。

宮城県立がんセンターによる活用支援

市町村長は、当該市町村のがん登録情報の提供を受けることができる。しかし、申請書類は多岐にわたり、国が求める安全管理措置の基準は厳しく、データの集計・分析には専門的な知識を必要とすることもあり、利用のハードルが高いのが実情である。

宮城県立がんセンターでは、このような状況に鑑み、市町村によるがん登録情報の活用支援を目的とした事業を新たに開始することとしている³⁾。今後、がん登録情報を活用する際には、併せてご活用いただきたい。

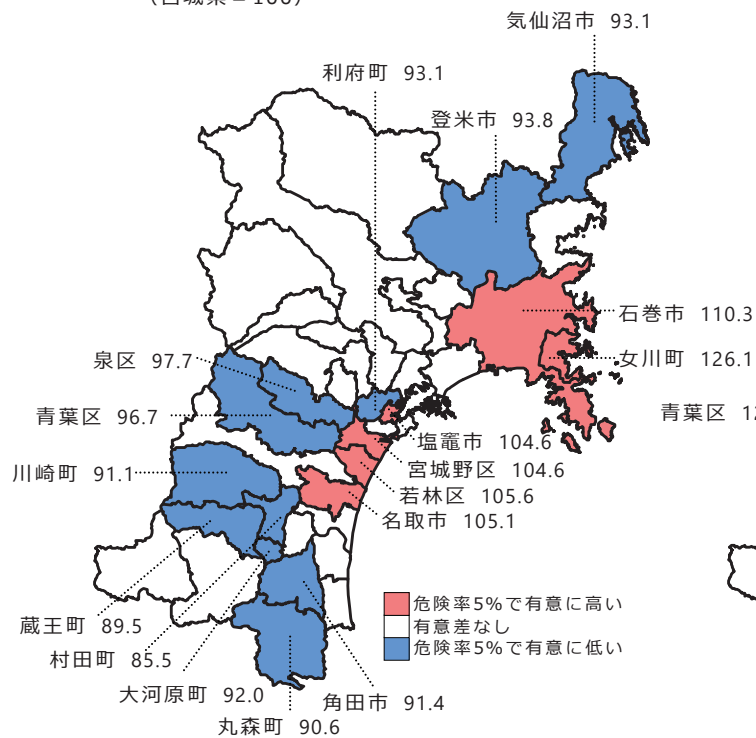
【参考】

- 1) 厚生労働省がん検診のあり方に関する検討会「がん検診のあり方に関する検討会における議論の整理（平成28年11月）」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000147203.html>
- 2) 平成28年11月30日付各都道府県衛生主管部（局）長宛厚生労働省健康局がん・疾病対策課長通知健が発1130第1号「市町村におけるがん検診の受診率の算定方法について」
- 3) 市町村を対象としたがん登録情報活用支援事業（宮城県立がんセンターホームページ）
<https://www.miyagi-pho.jp/mcc/kenkyu/katsudou/ekigaku-yobou/support/index.html>

図9-1 市区町村別・主要部位別がん標準化罹患比 | 平成25-29年(2013-2017年)

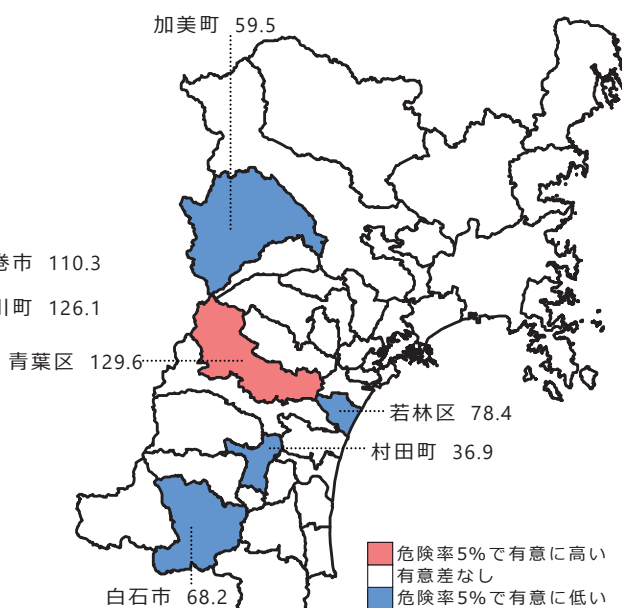
全部位

(宮城県 = 100)



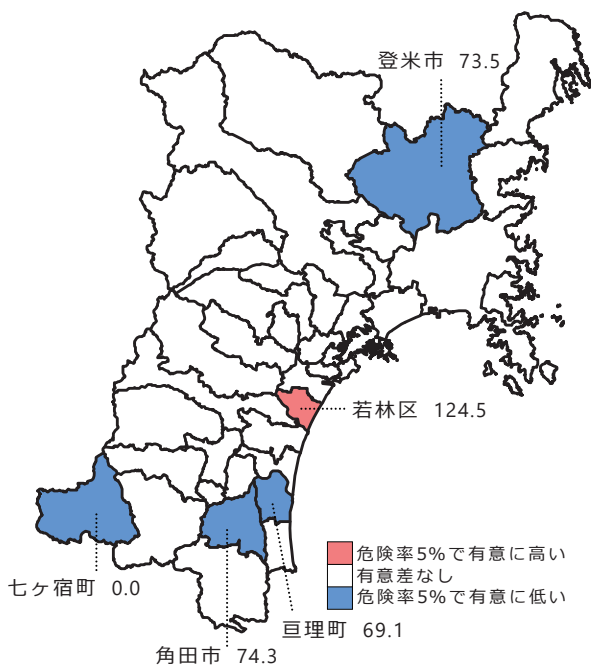
口腔・咽頭

(宮城県 = 100)



食道

(宮城県 = 100)



胃

(宮城県 = 100)

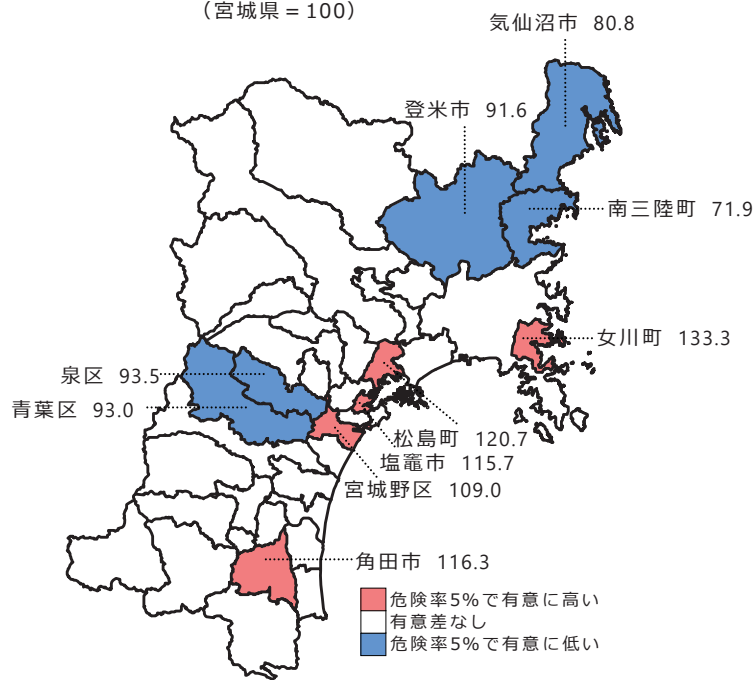
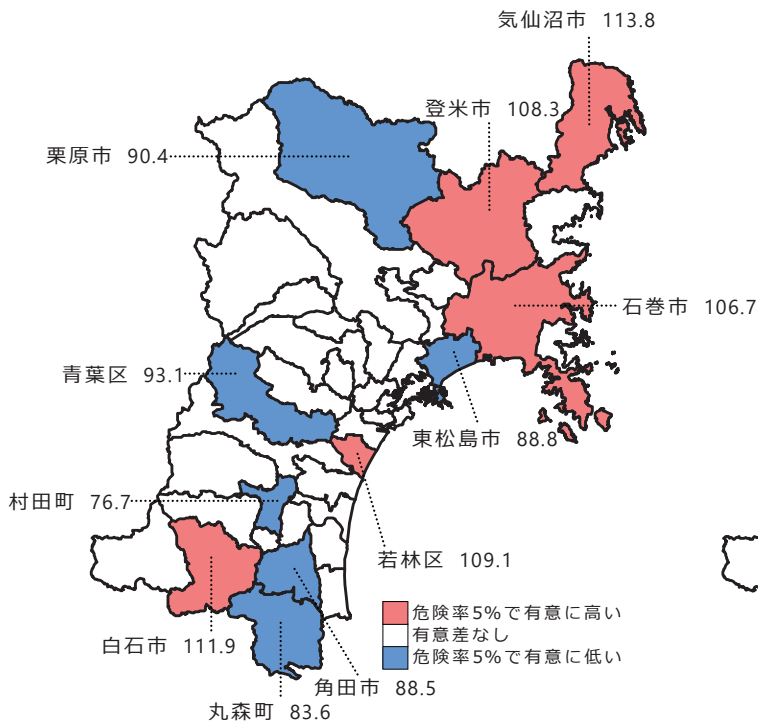


図9-1 (続き)

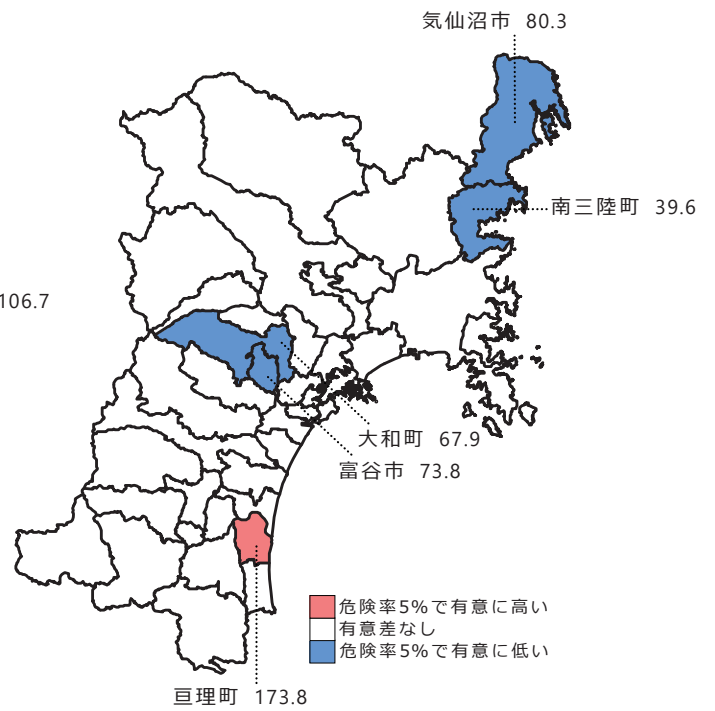
大腸

(宮城県 = 100)



肝・肝内胆管

(宮城県 = 100)



胆のう・肝外胆管

(宮城県 = 100)



膵

(宮城県 = 100)

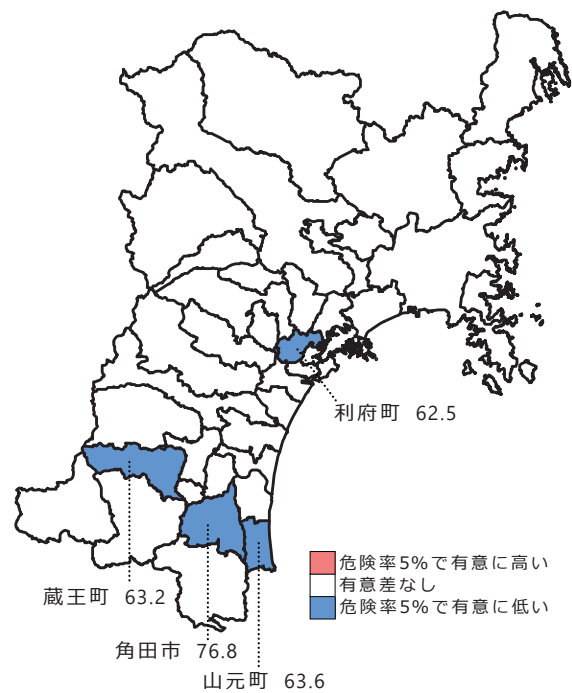
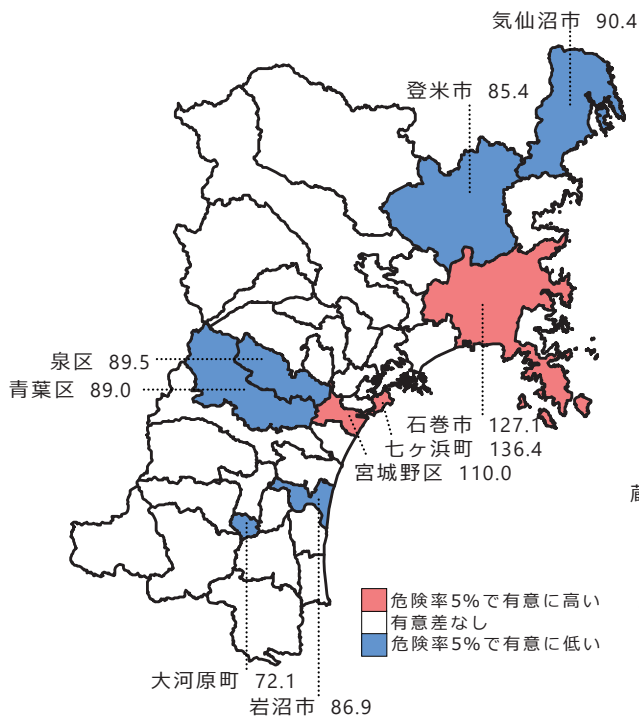


図9-1 (続き)

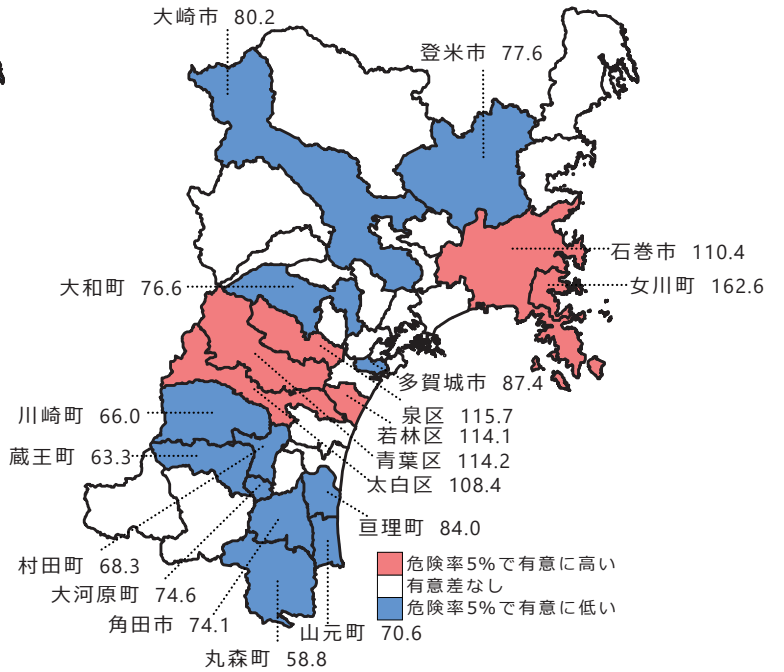
肺

(宮城県 = 100)



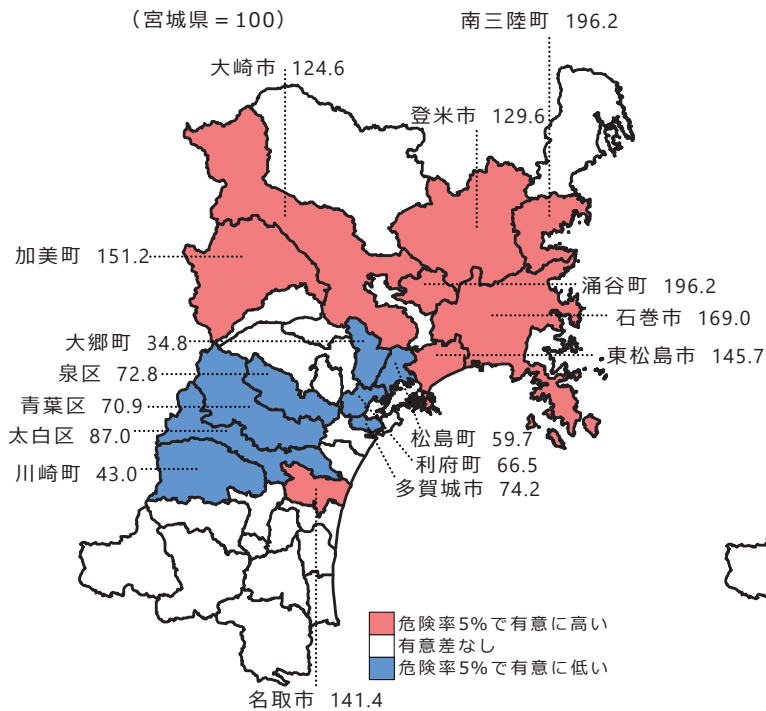
女性乳房

(宮城県 = 100)



子宮頸部

(宮城県 = 100)



子宮体部

(宮城県 = 100)

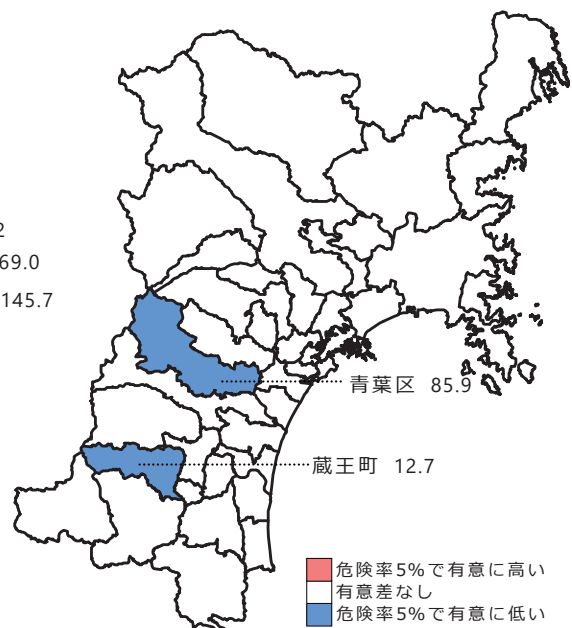
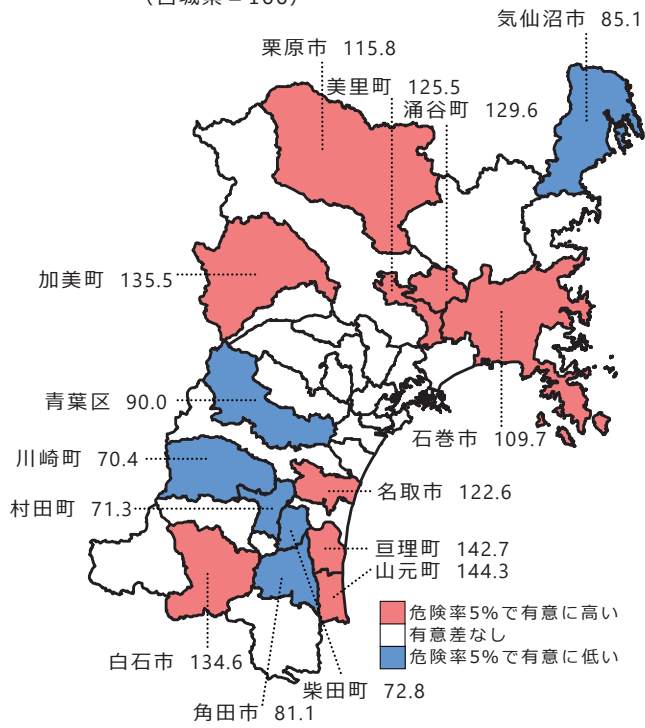


図9-1 (続き)

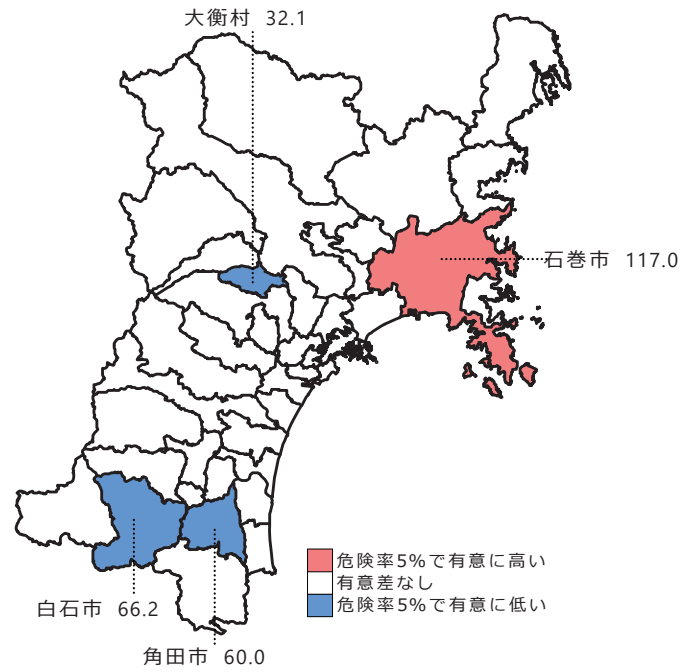
前立腺

(宮城県 = 100)



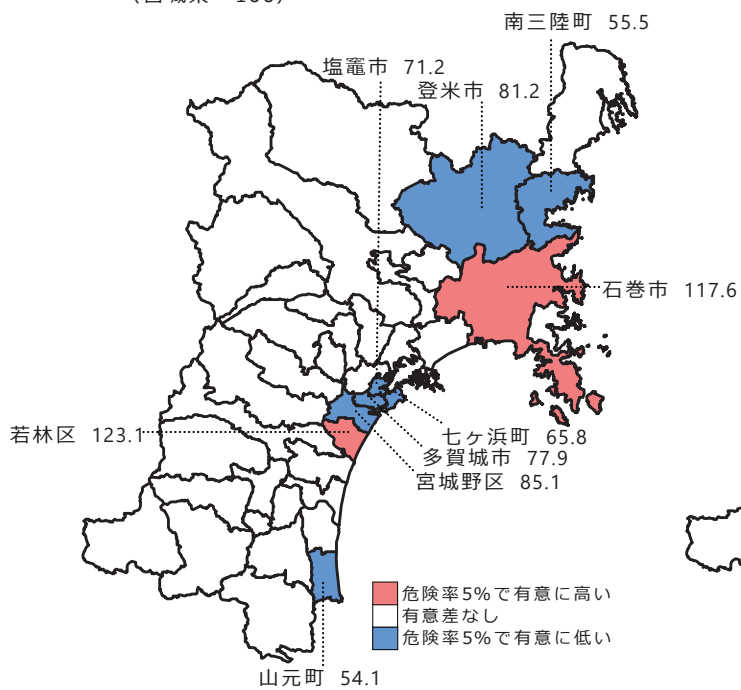
腎・尿路

(宮城県 = 100)



膀胱

(宮城県 = 100)



甲状腺

(宮城県 = 100)

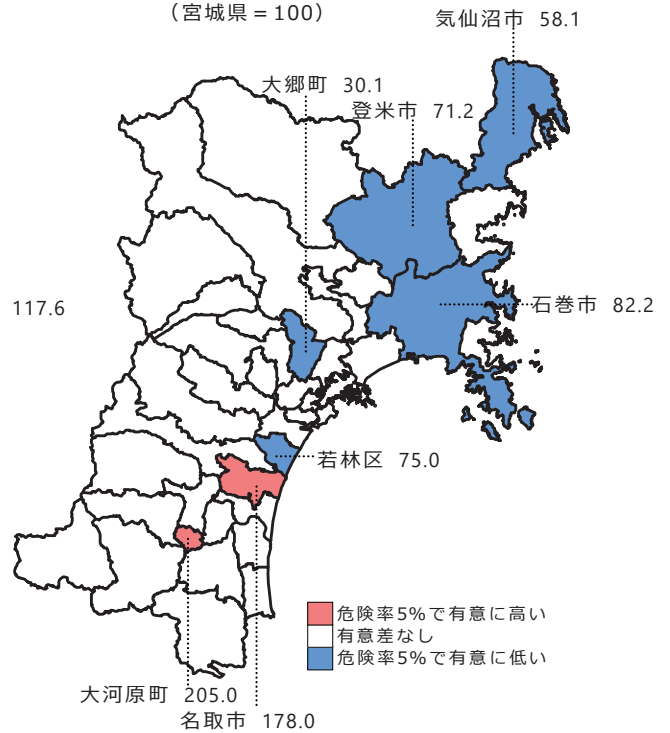


図9-1 (続き)

悪性リンパ腫

(宮城県 = 100)



白血病

(宮城県 = 100)

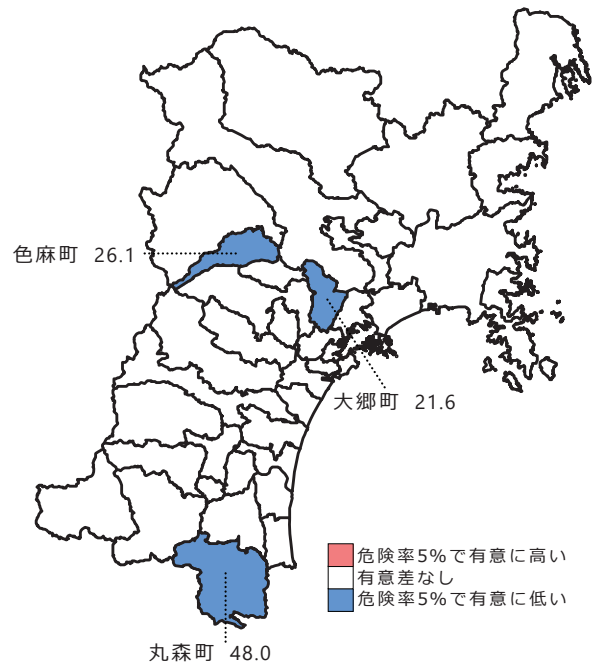
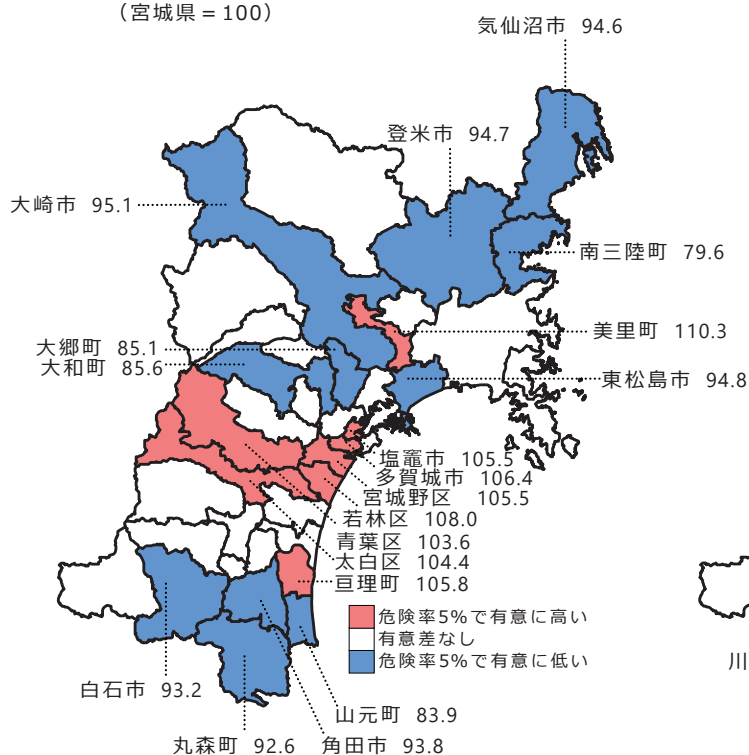


図9-2 市区町村別・主要部位別がん標準化罹患比 | 平成20-24年(2008-2012年)

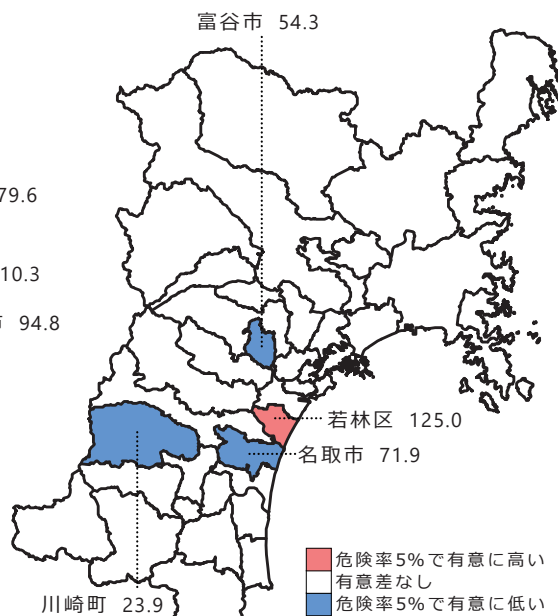
全部位

(宮城県 = 100)



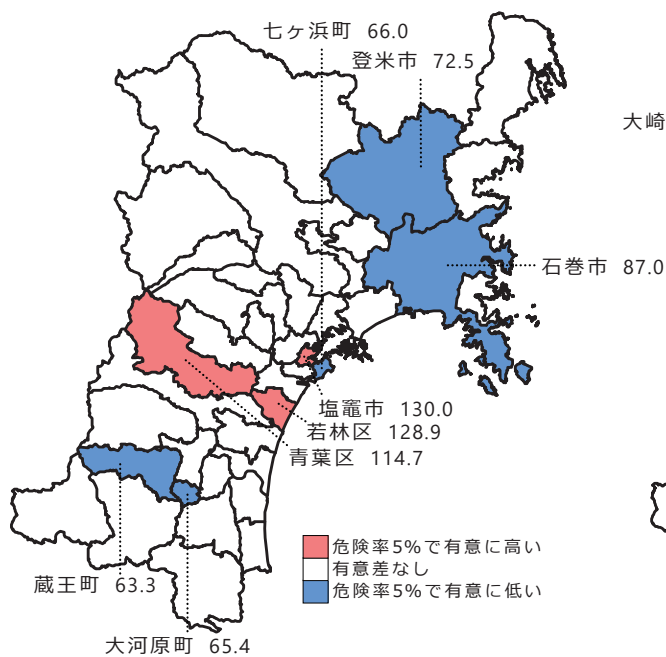
口腔・咽頭

(宮城県 = 100)



食道

(宮城県 = 100)



胃

(宮城県 = 100)

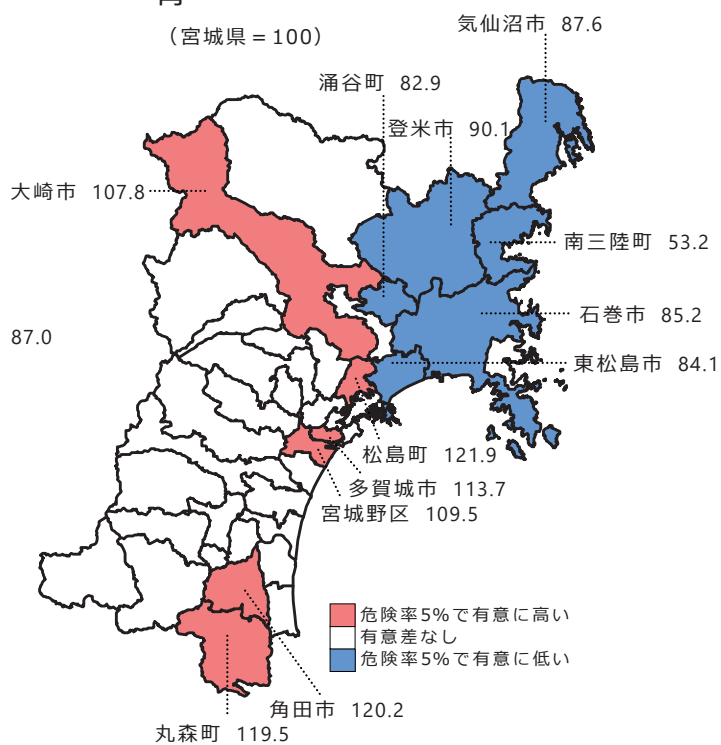
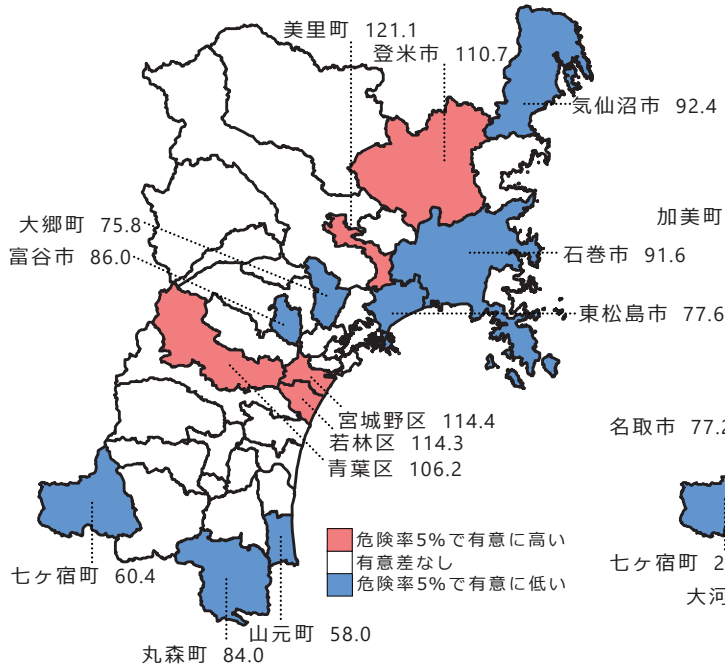


図9-2 (続き)

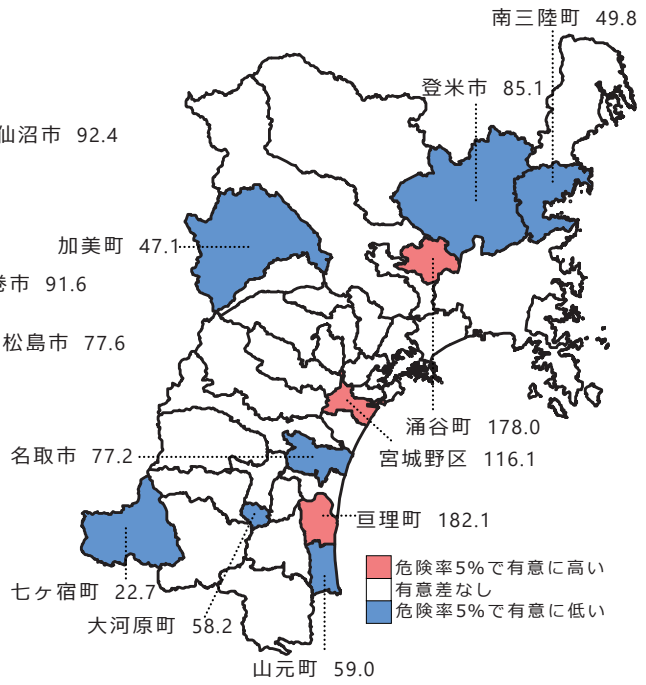
大腸

(宮城県 = 100)



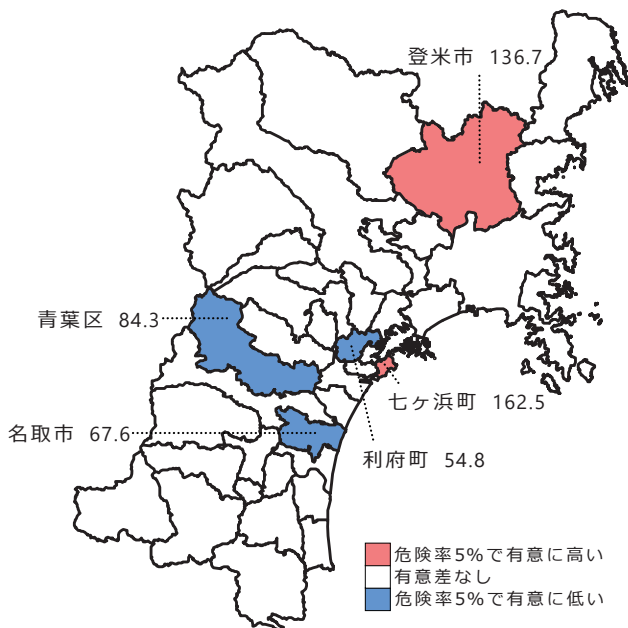
肝・肝内胆管

(宮城県 = 100)



胆のう・肝外胆管

(宮城県 = 100)



膵

(宮城県 = 100)

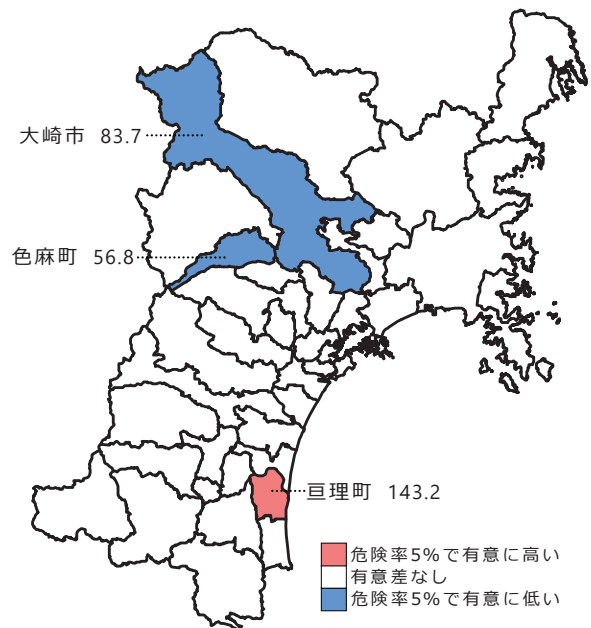
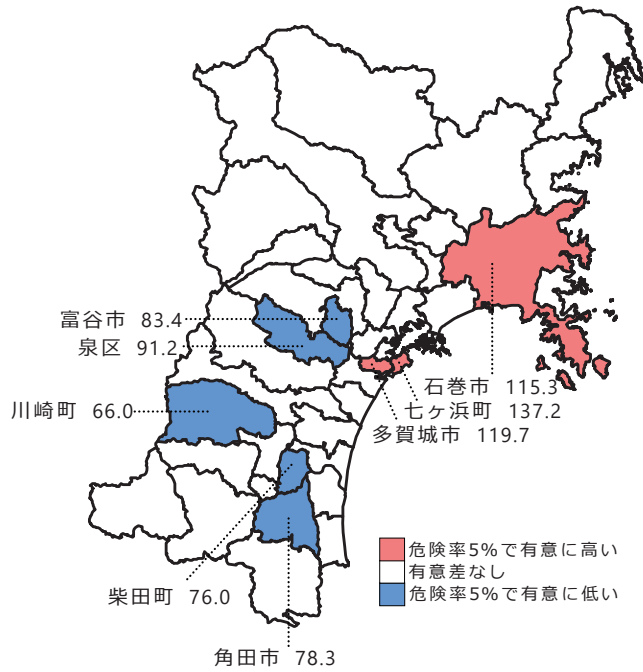


図9-2 (続き)

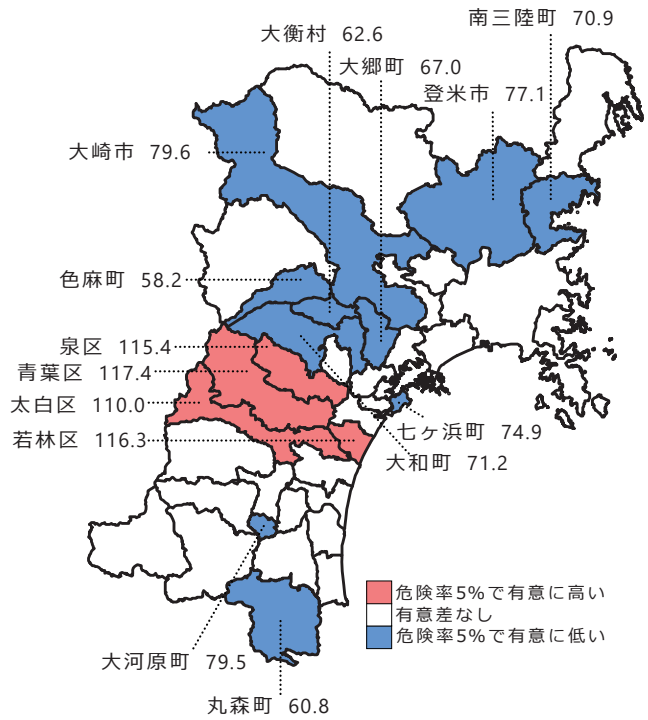
肺

(宮城県 = 100)



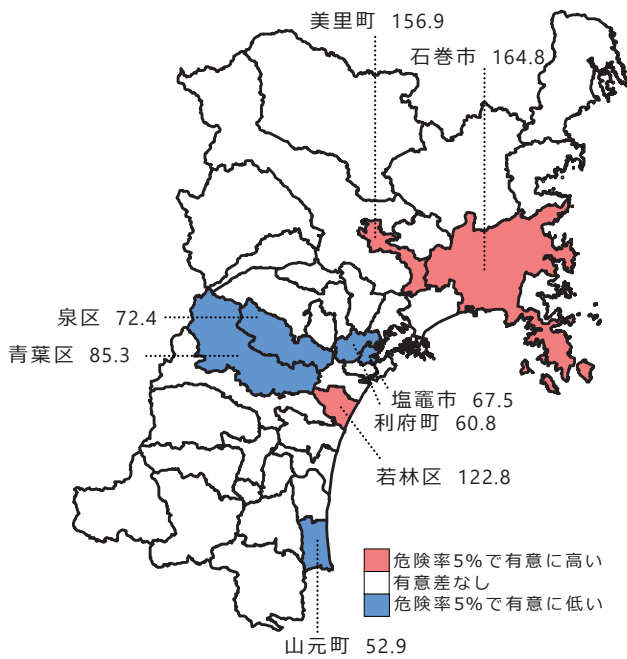
女性乳房

(宮城県 = 100)



子宮頸部

(宮城県 = 100)



子宮体部

(宮城県 = 100)

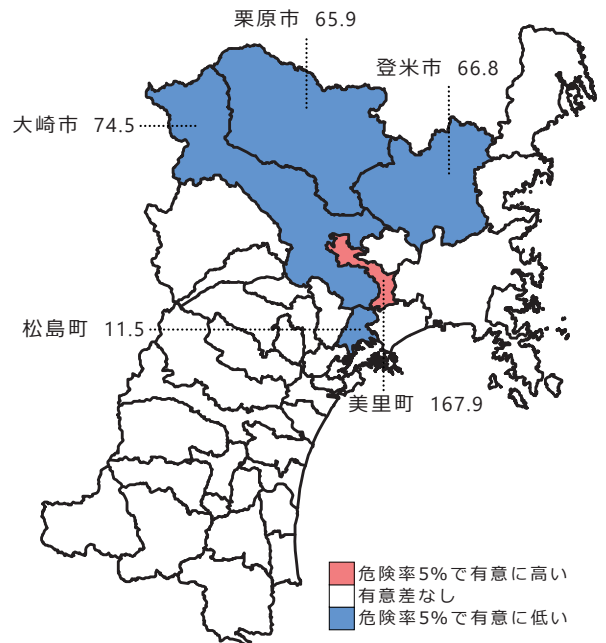
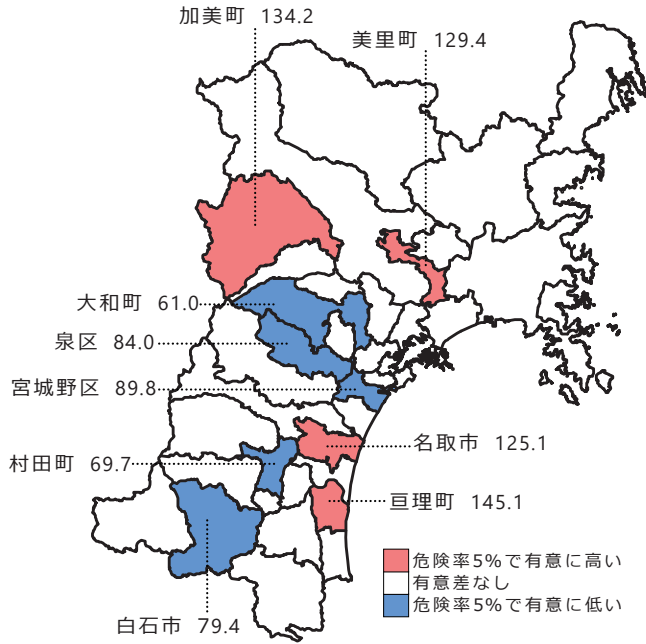


図9-2 (続き)

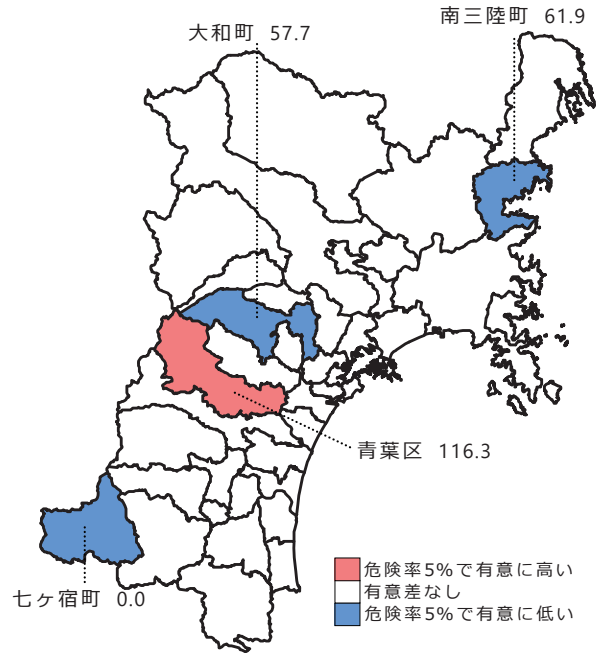
前立腺

(宮城県 = 100)



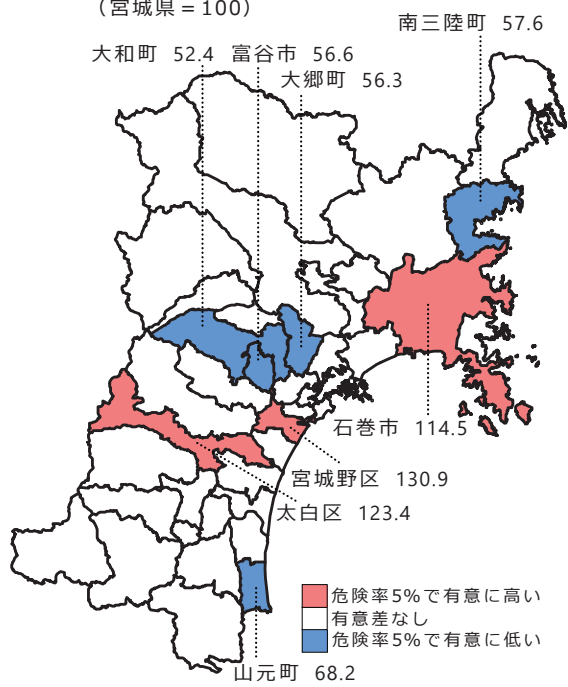
腎・尿路

(宮城県 = 100)



膀胱

(宮城県 = 100)



甲状腺

(宮城県 = 100)

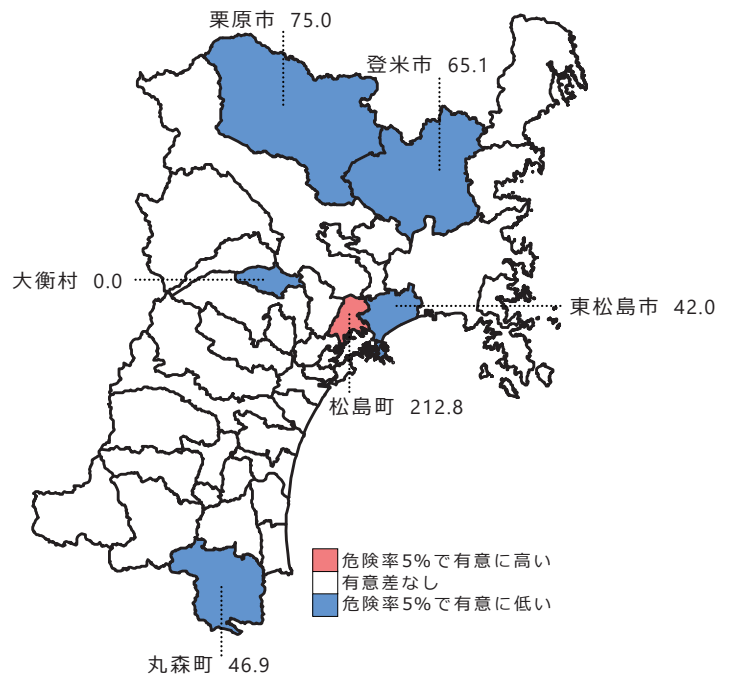
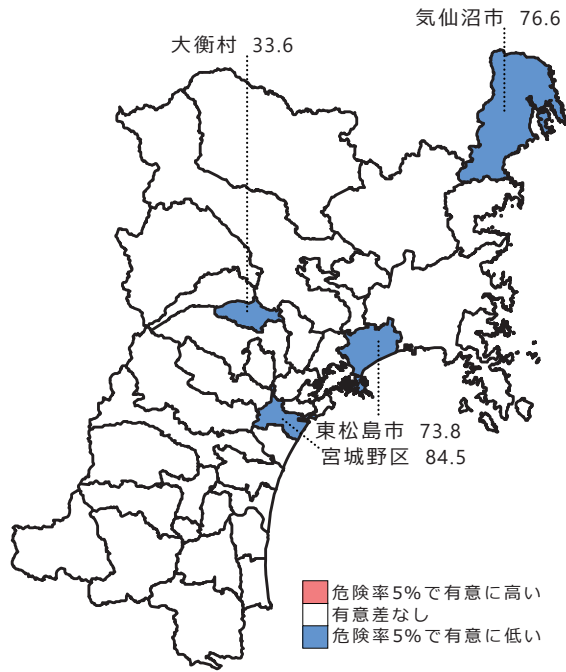


図9-2 (続き)

悪性リンパ腫

(宮城県 = 100)



白血病

(宮城県 = 100)

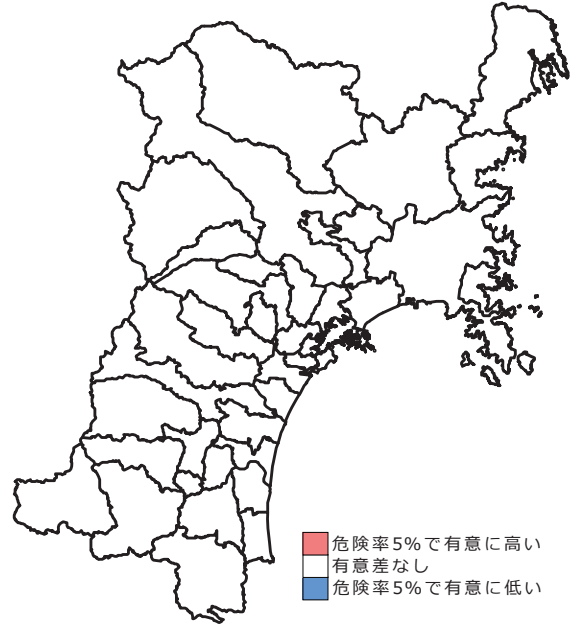
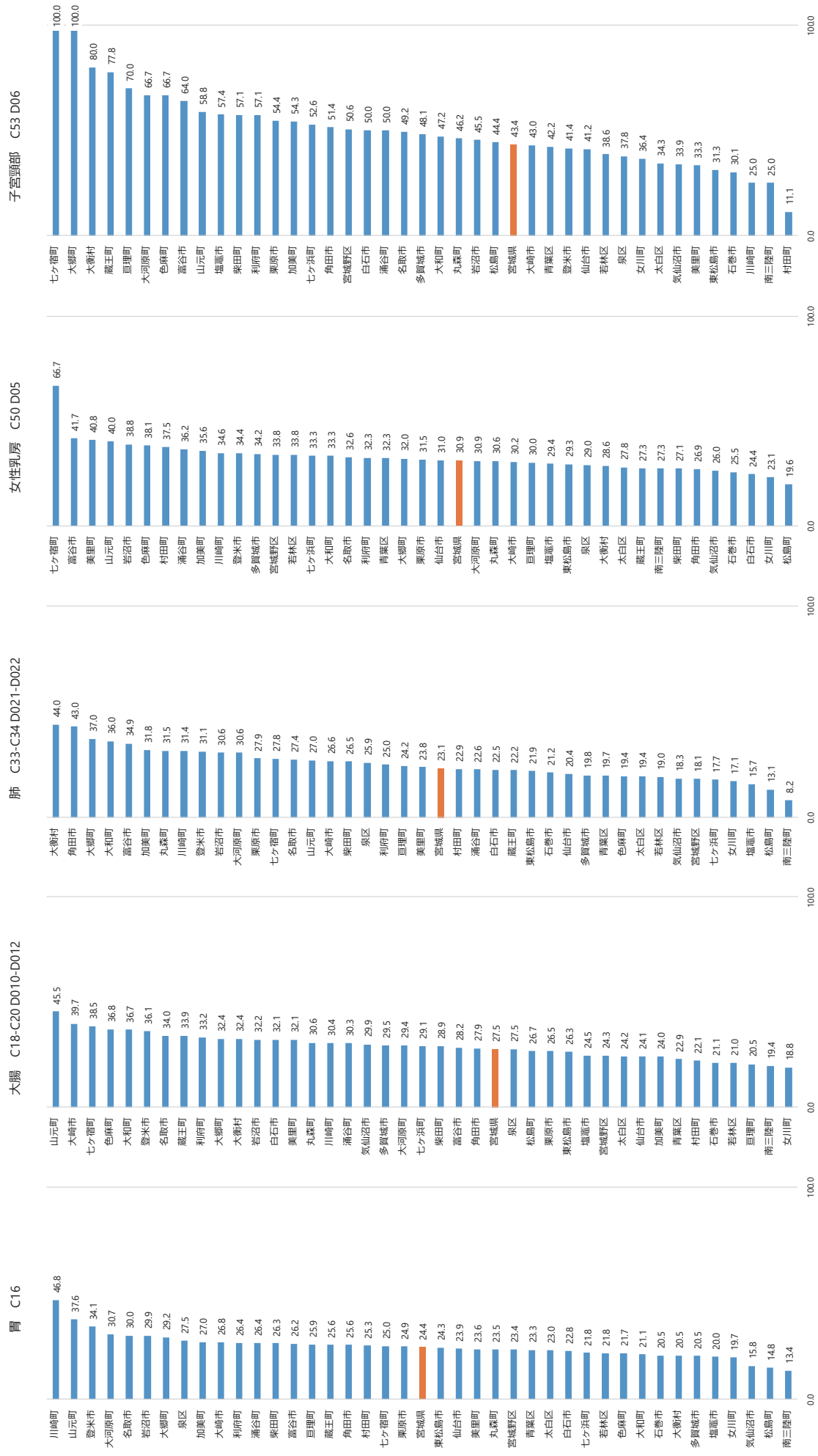
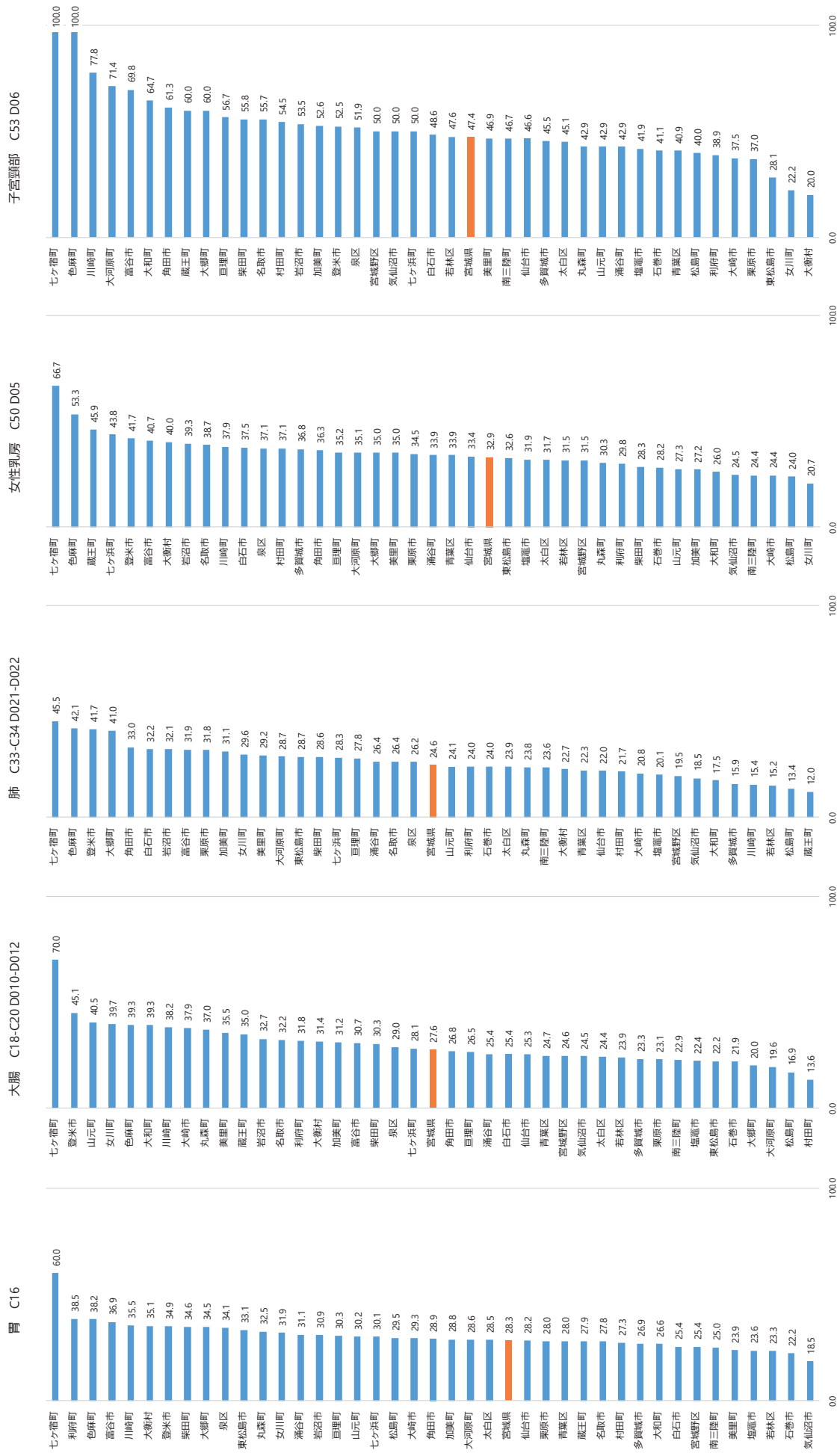


図10-1 市区町村別・主要部位別検診発見割合 | 平成25-29年(2013-2017年)



※ がん検診・健康診断・人間ドックにより発見された症例の割合 (単位: %)

図10-2 市区町村別・主要部位別検診発見割合 | 平成20-24年(2008-2012年)



※ がん検診・健康診断・人間ドックにより発見された症例の割合 (単位: %)

